

2016.7.24 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル
中目黒キリスト教会
聖別会マンスリー

2016年

< 聖化の豊かさを味わう > 「聖化の説教」(21)

「親として成熟する」

関西聖書神学校学監・鎌野直人牧師

「ここまでは来てもよい。しかし、これ以上はいけない。」(ヨブ 38:11)

はじめに：

「親である」ことと「親となること」とは異なる。後者は、人格的成熟を意味する

1. ヨブと子どもたちとの関り

敬虔で、正しいけれども、面白みのない父(1章)



ブレイク

- ・ 10人の子どもたちの祝宴に参加せず、彼らの罪を取りなすため、いけにえを捧げた父(1:4-5)
- ・ 過保護。子どもたちとの距離を置き過ぎ。

自由で喜びに満ちている父(42章)



ブレイク

- ・ 二度目に与えられた子どもたちが 10人。娘たちの名前も記されている：エミマ(鳩)、ケツィア(弓形)、ケレン・ハプク(化粧箱 = 42:14 - 15)

- ・更に相続地が彼女たちにも与えられている。
- ・子どもたちと共に喜んでいる。この変化は？

2 . 神とヨブ、神と被造物

ヨブは主を見た

- ・1章の主は、過保護なまでにヨブを守る方。しかし、「越えてはならない一線」を残し、保護を取り去られた(1:12,2:6)。
- ・主は、越えてはならない一線を設定し、それは越えないように守られる方。「海がふき出て流れ出た時、誰が戸でこれを閉じ込めたか。私はこれを区切って境を定め、門と戸を設けて言った。『ここまでは来てもよい。しかし、これ以上はいけない。』と。」(38:8~11)

被造物に対しても

- ・効率主義ではなく、敢えて「無駄」をなさる方(38:26~27 = 人のいない地に雨)
- ・被造物を徹底的に自慢される方(39:1~4 = ヤギや鹿の出産、13~18 = ダチョウの野放図)
- ・「親ばか」的な自慢はヨブに関しても(1:8, 2:3)

3 . 父なる神と似た者へと変えられる

- ・神が被造物に対しておおらかに接しておられる姿を見て、ヨブは自分の父親像を変えた。
- ・親としての私たちは天の父と似ているだろうか。
- ・一定の境界線を教えつつも、子どもの自由さに委ねる、無駄を敢えて受け入れる、子どもを自慢する、おおらかで気前のよい親に成長しよう。